

質問

このほど、がんと診断され、全身麻酔での手術を受けることになりました。入院前に歯科受診するように言われたのですが、どいう意味があるのですか。



答え

がんと診断され、動揺されているとお察しします。同時に歯科受診を勧められ、どいうことかと思議に思われるかもしれません。

現在、徳島大学病院では、がんやその他の病気のために全身麻酔を使つての手術を受けられる方に対して、入院中に食べたり飲み込んだりという口の機能を健全に保つていくための専



永井 浩美

徳島大学病院口腔管理センター特任講師

全身麻酔前に歯科受診

入院前(手術前)に、治療が必要な虫歯や歯周病がないかを調べて、必要ときは手術(治療)前に治療を終わらせ、さらに、歯の専門的なクリーニングを行つて口の中の病原菌を減らし、がん治療に支障を来さないためのケアです。

全身麻酔では、主に口から気管の中に直接管を入れて人工呼吸を行います。口の中が汚いと、口の中の細菌が肺に誤つて落ち込み、誤えん性肺炎を起こす危険があります。口腔ケアはその予防を主な目的としています。

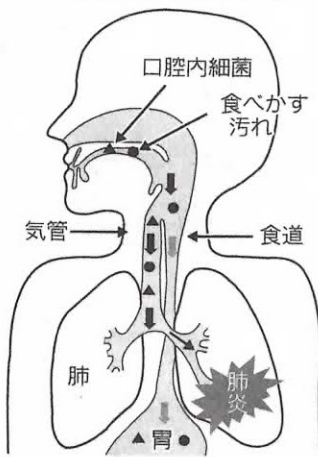
口腔ケアは手術だけに限らず、抗がん剤治療や放射線治療を受けられる方々にも行っています。手術の後や、抗がん剤治療、放射線治療によって体の抵抗力が落ちると、普段の健康時には小康状態を保っていた口

腔内の病巣が、さまざまな症状(歯肉の腫れ、痛み、口内炎、腎臓や心臓への病巣感染など)を起こすことがあります。そういうトラブルを予防し、早期に回復していただくために行います。抗がん剤治療や頭頸部のがんに対して行われる放射線治療、さらには臓器(骨髄)移植などの治療を受けた患者は、口腔乾燥症や口腔粘膜炎(痛みを伴うびらんや潰瘍)が起こることがあります。時には、自分でうがいさえできないほど痛みがひどくなることもあります。そのような口腔乾燥症や

口腔粘膜炎などの症状を緩和し、食べ物をかみ、飲み込む機能を保つていくために、口腔内の清潔な環境を守るのが大事です。口腔ケアは、患者自身で行うセルフケアとともに、歯科医師や歯科衛生士、看護師が行う専門的ケアからなります。

がん治療に入る前に、治療中に悪化しそうな虫歯や歯周病、合っていない義歯(入れ歯)などの治療が終わってから入院していただくのが理想です。その場合、大学病院歯科で口腔ケアの計画を立てた後に、入院前の歯の治療やクリーニングは、近くのかかりつけ

【誤えん性肺炎】



胃に入れば消化殺菌される

歯科医院に依頼することができます。

ただ、がんの治療では入院までの時間的な余裕がありません。虫歯や歯周病のためにがん治療開始が遅れることがないように、普段から定期的な口の中を点検してもらってください。また、退院後に口腔ケア継続が必要な方も多く、気軽に受診できるかかりつけの歯医者を探しておいてください。

質問募集 がんに関する悩みに「徳島がん対策センター」がお答えします。質問内容を詳しく書き、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記し、〒770-8572 徳島新聞社文化部「がん相談」係へ。紙上に住所、氏名、電話番号は掲載しません。同センター(電0888(633)94388)でも平日午前8時半~午後5時に受け付けています。

細菌によるトラブル予防